



剛氣果敢

神奈川大学体育会剣道部通信

平成29年11月15日 創刊号
 発行人 神奈川大学体育会剣道部
 部長 照屋 行雄
 編集人 広報部 小山 篤
 net34186@ai.ayu.ne.jp
 090-2668-0189

創刊号に寄せて



神奈川大学体育会剣道部
部長 照屋 行雄

わが神奈川大学体育会剣道部は、開学間もない1933年に創立され、爾来久しく学問に精励し剣道に精進する有為な人材を輩出してきました。剣友会の先輩諸賢が各界において指導的役割を果たされ、社会の繁栄と人々の幸福に貢献されている事実を誇りに思います。わが剣道部は、本学の建学の精神を最もよく体現し、部の伝統と文化を尊重するとともに、文武両道の人生を自覚的に構築することに限りない価値をおいています。

この度、わが剣道部の活動やその成果を適時に報告し、また現役部員の個性とその成長をビビッドに紹介し、さらに剣友会の取組みと先輩方の活躍ぶりを伝達することを目的として、神大剣道部通信を発行し頒布することとしました。そして本通信の名称に、現在部員が使用している面部着装の手拭記載で剣道部長の名辞になる『剛氣果敢』を、その訓意に照らして採用することにしました。

「剛氣」とは、強くて勇ましい気性のことであり、それは強靱で屈しない堅固な意気を意味します。また「果敢」とは、決断が速く機を見て俊敏に動くことであり、それは大胆に物事に取組む態度を意味します。『剛氣果敢』の「剛氣」で「剣道・稽古に取組む基本姿勢（静態）」を、「果敢」で「対戦・攻防に臨む基本態度（動態）」を表しています。『剛氣果敢』は、新時代を切拓くわが剣道部とその部員一人ひとりに強く求められています。

神奈川大学体育会剣道部は、わが国武道の精神と伝統を尊重し、剣道の礼法と規範を遵守します。同時に、これまでの部活動の多大な成果を蒸留し、新たな輝かしい歴史の頁を幾久しく重ねてゆく決意を新たにしています。部員、保護者、先輩方並びに関係者の皆様には本神大剣道部通信『剛氣果敢』をご愛読くださり、ご意見や情報をお寄せ下さいますようお願い致します。

各種大会報告

みんなの心がひとつになる



詳しい成績結果については、剣道部のホームページをご覧ください。

7/26 赤胴大会 神奈川大学湘南ひらつか校舎
 優勝 男子の部 五十嵐健士(4年)
 女子の部 堀江 優里(2年)



関東学生剣道優勝大会
日本武道館 9月10日



関東女子学生剣道優勝大会
東京武道館 9月16日